

# 猪・鹿・熊等有害鳥獣用焼却炉(ケマドローラ)

有害鳥獣の焼却処分は牛・豚の完全焼却で家畜  
保健衛生所様に多くの実績があるケマドローラへ！

左下の写真は上部投入型CA-21型  
500kg/回の一括投入が可能！

右下の写真は台車投入型CAB-21型



## 特徴

- 1 上部投入型、台車投入型とも人手を汚す事なく焼却処分が出来ます。
- 2 ダイオキシン類対策特別措置法適合品です。
- 3 自動制御のため炉内の自動温度調整・バーナー自動着火・失火検知・自己冷却が可能です。
- 4 骨髓まで燃焼するため骨は粉々に碎けます。

製造販売元



〒216-0033 神奈川県川崎市宮前区宮崎2-6-10

宮崎台ガーデンオフィス 2階

☎044-863-6152 Fax044-863-6153

ケマドローラ専用HP <http://www.Quemadora.jp>

会社HP <https://rexpert.co.jp/>

# 70 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進

【令和4年度予算概算要求額 16,027 (12,179) 百万円】  
 (このうち鳥獣被害対策推進枠 1,904 (1,045) 百万円)

## <対策のポイント>

農作物被害のみならず農山漁村での生活に影響を与える鳥獣被害の防止のため、鳥獣の捕獲等の強化やジビエ利活用への取組等を支援します。また、森林のシカ被害の効果的な抑制のため、都道府県による広域的な捕獲への支援や複数の都道府県にまたがる国有林野における捕獲事業の実施等を行います。

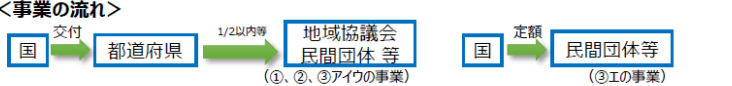
## <事業目標>

- 農作物被害を及ぼすシカ、イノシシ、サル対策強化（生息頭数等を平成23年度から半減（シカ、イノシシで約190万頭）〔令和5年度まで〕）
- 野生鳥獣のジビエ利用量の拡大（令和元年度から倍増（4,000t）〔令和7年度まで〕）

## <事業の内容>

### 1. 鳥獣被害防止総合対策交付金 13,900 (11,005) 百万円

- 市町村が作成した「被害防止計画」に基づく取組等を総合的に支援します。
- ① 侵入防止柵、焼却施設、捕獲高度化施設等の整備 (1/2以内、直営施工の場合は定額支援) (捕獲高度化施設と一体で整備する研修施設の整備)
  - ② 地域ぐるみの被害防止活動・捕獲等の強化
    - ア 捕獲活動経費の直接支援(獣種等に依り上限単価以内での定額支援)
    - イ 都道府県が行う広域捕獲に係る調査、捕獲活動、人材育成の支援の充実(限度額内で定額支援)
    - ウ ICTを総動員した被害対策のモデル地区の整備(限度額内で定額支援)
    - エ 猟銃所持者確保に向けた支援、処理加工施設の専従員による止め刺し等の地域内の連携支援(限度額内で定額支援)
    - オ クマ、鳥類に対する総合的な対策の支援(限度額内で定額支援)
  - ③ ジビエ利活用の推進
    - ア 処理加工施設やジビエカー、簡易な一次処理施設等の整備 (処理加工施設と一体となった加工製造施設の整備)
    - イ 豚熱感染確認区域でのジビエ利活用推進のための検査費用等の支援(限度額内で定額支援)
    - ウ ジビエカーのリース導入支援(定率支援)
    - エ ペットフード等を含む多様な需要拡大のため、プロモーション等への取組を支援(定額支援) 等



### 2. シカ等による森林被害緊急対策事業 223 (129) 百万円

森林におけるシカ被害を効果的に抑制するため、都道府県による広域的な捕獲の取組や複数の都道府県にまたがる国有林野における国土保全のための捕獲事業、林業関係者による捕獲効率向上対策、新技術の開発・実証、及びノウサギ被害の対策手法の検討を実施・支援します。

<事業の流れ> ※国有林においては、直轄で実施



## <事業イメージ>

### 【総合的な鳥獣対策・ジビエ利活用への支援】



【鳥獣被害対策推進枠】

- ・多面的機能支払交付金のうち多面的機能の増進を図る活動等の一部（鳥獣被害等の整備・安全管理等）
- ・中山間地域等直接支払交付金のうち生産性向上加算及び集落機能強化加算等（捕獲対策・ジビエ利活用拡大等）
- ・農山漁村振興交付金のうち農道土地利用対策（鳥獣被害等機能等を有する計画的な植林等）



【お問い合わせ先】 (1の事業) 農村振興局鳥獣対策・農村環境課鳥獣対策室 (03-3591-4958)  
 (2の事業) 林野庁研究指導課森林保護対策室 (03-3502-1063)